

【専門教育科目/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
健康教育	NSP33_002	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
伊丹 幸子 他	304	s.itam	月曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	人々の行動や意識がよりよい生活を目指す方向に変化し、その人らしい豊かな人生の構築が図れるために健康と生活の質を高める健康教育における理論及び知識と技術を理解する。健康教育の理論をヘルスプロモーションとの関連で理解し、健康教育の企画・指導案の作成し、実践に活かせる思考について理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	主体的に授業・演習に参加し、実習等で応用できるように学習する。				
教科書	最新 公衆衛生看護学 第3版 /編:宮崎美砂子 他 /日本看護協会出版 /2019				
参考書	・最新保健学講座 別巻1 健康教育論 第2版 /編著:宮坂忠夫 他 /メヂカルフレンド ・厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2020/2021 /厚生労働統計協会				
外部教材	女子栄養大学「四群点教法」				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	健康教育の意義を理解し、主体的に授業に参加し、グループメンバーと協力できる。	NS(1)~(5)			
②	看護における健康教育の目的を説明できる。	NS(1)(4)			
③	健康教育の基盤となるヘルスプロモーションの考え方を説明できる。	NS(2)(3)(5)			
④	看護の対象となる人々の健康課題を見出し、健康教育のテーマを設定できる。	NS(4)			
⑤	テーマに沿って、健康教育の企画案を作成できる。	NS(3)(4)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション・健康教育の目的	講義・演習	今まで自分が受けた健康教育について調べる。	1	
2	健康教育の理論	講義・演習	教科書から必要な理論を調べる。	1	
3	健康教育と看護実践	講義・演習	看護師が健康教育を行う場面について調べる。	1	
4	健康教育の方法と特徴	講義・演習	教科書から健康教育の方法を調べる。	1	
5	健康教育の環境整備と媒体	講義・演習	自らの3日間の食事表を作成する。	1	
6	健康教育のプログラム(実施計画)の立て方 評価指標の設定、評価の方法	講義・演習	自らの食事の内容等を評価する。	1	
7	健康教育の企画① ニーズアセスメント、目標設定	講義・演習	食事の改善計画を立てる。	1	
8	健康教育の企画② プログラムの企画立案	講義・演習	健康の保持増進に活用できる生活習慣を調べる。	1	
9	健康教育の企画③ プログラムの企画立案	講義・演習	健康の保持増進、免疫向上を図るための食事の企画、作成を行う。	1	
10	健康教育の企画④ 指導案の作成・指導に使用する媒体作成	講義・演習	健康教育のときに活用できる媒体を作成する。	1	
11	健康教育の企画⑤ 指導案の作成・指導に使用する媒体作成	講義・演習		1	
12	健康教育の実施・評価① 評価の方法と発表	講義・演習	作成した健康教育の修正を行う。	1	
13	健康教育の企画⑥ プログラムの修正、媒体の作成	講義・演習	発表媒体を作成する。	1	
14	健康教育の実施・評価① プレゼンテーション	講義・演習 プレゼンテーション	他者の発表について評価し、まとめる。	1	
15	健康教育の実施・評価②まとめ プレゼンテーション	講義・演習 プレゼンテーション		1	
試	定期試験				

【専門教育科目/看護の基本】

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	30	0	20	20	10	100
	思考・推論・創造する力	10	0	10	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	10	0	20
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		定期試験：基本的な知識と健康教育に関する考え方について問う。国家試験に同様なレベルとする。				メールで回答の解説を送付する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	健康教育の企画案を各自で立て、健康教育の模擬できることを目標とする。				各自にコメントをして、返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	出席日数を総合的に評価する。				問題が生じた場合には、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他担当教員	山崎洋子						
教員の実務経験	山崎：保健師として保健所、市町村に10年勤務、また、大病院の医療連携室での退院調整や療養生活相談等に勤務。伊丹：35年間の県および市町村の行政保健師および児童相談所の勤務経験がある。						
実践的授業の内容	保健所・市町村における行政保健師活動における健康教育の実務経験を元にして、看護師としての健康教育について内容を構築し、理解を深める。健康教育の媒体を作成する等実践に生かせる演習を実施する。また、教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。・学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 ・Teamsを使った同双方向型授業を実施する場合は通信容量無制限のWiFi環境を推奨する。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢により、再度シラバス内容が変更となる可能性がある 						